

機械設備工事特記仕様書 No.1

【工事概要】

1 工事場所	京都市右京区京北下中町奥谷3
2 建物概要	
建物名	RC造
構造	2階建て
階数	
延床面積(m ²)	
消防法令別表第一	
備考	

3 工事科目	●印をついたものを適用し、各一式とする。				
工事科目	建物名称				
空調調和設備	●		○		○
換気設備	○		○		○
排煙設備	○		○		○
自動制御設備	○		○		○
衛生器具設備	○		○		○
給水設備	○		○		○
排水設備	○		○		○
給湯設備	○		○		○
消火設備	○		○		○
ガス設備	○		○		○
厨房機器設備	○		○		○
浄化槽設備	○		○		○
医療ガス設備	○		○		○
撤去工事	○		○		○

【特記事項】

- 一般事項
 - 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成二十八年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）平成二十八年版（以下「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成二十八年版」による。
 - 工事種目ご電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
- 特記事項
 - 項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章	項目	特記事項
一般事項	●設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。 また、(グ)印は「京都府庁グリーン調達方針」(以下、「グリーン調達」という。)の特定調達品目を示す。 ●京都府庁グリーン調達 kyoto.jp/zeisan/kankyoh.html
	●機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図式集(最新版)によるものとする。
	●機材の品質・性能証明	使用する機材が、(財)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(c)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	●グリーン調達適合品の確認	グリーン調達適合品の証明を監督職員に提出する。 ●Eアコンディショナー ○
	●現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同等、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	○電気保安技術者	※適用する ○適用しない
	○技能士(一級)	※配管(配管工事) ○建築板金(ダクト製作及び取付け) ○冷凍空調と機器施工
	●工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	●官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	●工事用仮設物	構内につくることが ※できる ○できない
○足場・さん橋類	別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。	
●監督職員事務所	※設置しない ○設置する(○本工事 ○別途)	
○監督職員事務所	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) ・機械設備工事監理設計 ・機械設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針 ・工事写真の撮り方(最新版)-建築設備編- ・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)	
●建設副産物の処理及び建設発生土の処理	●建設副産物の処理 ○引き渡しを要するもの【 金類 】 右記のほか、 ○再資源利用を図るもの【 金属類 】 現場説明書による。 ○特別管理産業廃棄物 ○PCB使用機器 ○SF6ガス使用機器 ○ ○建設発生土の処理 右記のほか、 ○構外指定地へ搬出処理 ※(財)城山山城砂利採取地整備公社 現場説明書による。 ○構内指示場所へ敷き出し ○構外搬出選別処理 ●再生資源利用促進 建設副産物において、発生量の多少に係わらず、再生資源利用促進計画書(建設副産物対策近畿地方連絡協議会)について、施工計画書に含めて提出する。 また、実績については再生資源利用促進計画書として提出する。 1)「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。 2)関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物等処理報告書」により監督職員に報告する。 ○Asベスト成形板の処理等 施工調査 Asベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面より記録し監督職員に提出する。 ・Asベスト成形板使用部位の確認 ・Asベスト成形板の種類、厚さ等の確認 ・Asベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲 ※成形板の製造年等の確認 ○X線解析法 処理方法 ※非飛散性Asベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針に倣いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。	

章	項目	特記事項																																																
一般事項	●工事関係書類	営繕工事契約関係書類提出書類書式集、一覧表により提出。 ●京都府庁グリーン調達 kyoto.jp/zeisan/index.html 月報 ※2部 ○3部 毎月末日の、翌月の5日までに提出する。																																																
	●履行報告																																																	
	●工事写真	1)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(最新版)建築設備編」による。 2)工事完成時、整理の上、1部提出する。 3)デジタルカメラで撮影可とする。																																																
	●完成図書	名称 内容 大きさ 部数 ○完成図 金文字製本 A4版 1部 ●完成図 ●背表り製本(A2-A3版) ○A4ファイル止め 2部 ●施工図 ●背表り製本(A2-A3版) ○A4ファイル止め 2部 ●機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書 ●諸官庁提出書類 副本 1式 ○原図 完成図・施工図 1部 ●完成写真 アルバム綴り 2部 電子納品については、現場説明書による。																																																
	●著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																																
	●付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表1による。																																																
	●総合調整	●風量調整(測定共) ○水量調整(測定共) ○室内外空気の温湿度測定 (測定結果は報告書にて提出) ○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ○飲料水の品質の測定																																																
	●耐震施工	1)設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。 2)下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">●特定の施設</th> <th colspan="2">○一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.4(0.6)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">○特定の施設</th> <th colspan="2">○一般の施設</th> </tr> <tr> <th>水</th> <th>槽</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.5</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> </table>	設置場所	●特定の施設		○一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)	設置場所	○特定の施設		○一般の施設		水	槽			上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5		中間階	1.5		1.0		1階及び地下階	1.5		1.0	
	設置場所	●特定の施設		○一般の施設																																														
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																													
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)																																														
中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)																																														
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																																														
設置場所	○特定の施設		○一般の施設																																															
	水	槽																																																
上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5																																															
中間階	1.5		1.0																																															
1階及び地下階	1.5		1.0																																															
○一般用弁	標準仕様書第2編2.2.1(1)~(12)によるほか、下記による。 1)水道直結部及び図面特記部の耐圧は10K以上、その他は5K以上とする。 2)給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。																																																	
○フレキシブルジョイント	機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、銅板対してはヘロス形、FRPに対しては合成ゴム製とする。																																																	
○伸縮管継手(銅管用)	銅管用伸縮管継手は下記による。 ※ヘロス形 ○スリーブ形																																																	
○溶接溶接	溶接部の非破壊検査は、 ※適用しない ○適用する(○放射線透過検査 ○浸透深傷検査又は磁粉深傷検査)																																																	
○地中埋設機及び埋設表示用テープ	1)給水管 地中埋設機(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要) 2)消火管 地中埋設機(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要) 3)ガス管 地中埋設機(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要) 4)油管 地中埋設機(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要) 5)フライング管 地中埋設機(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要) 用途表示のあるテープ(幅は150mm以上)で、2倍以上重ね合わせて使用する。																																																	
○防食処理	土中埋設の排水用塩化ビニル管は、防食処置を行う。																																																	
●保温	1)保温材の使用は、下記による。 <table border="1"> <tr> <td>給水管・排水管</td> <td>※ポリスチレンフォーム保温材 ○</td> </tr> <tr> <td>排煙ダクト・煙道、排気筒</td> <td>※ロックウール保温材 ○</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>※グラスウール保温材 ○</td> </tr> </table> 2)膨張管及び膨張水槽からの補給水管の保温は、冷温水管に準ずる。 3)銅板製タンクの保温 ※必要 ○不要 4)保温を施す膨張水槽等の蓋の保温 ※必要 ○不要 5)エア抜管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲はエア抜管までとする。 6)露出配管の保温外装種別は、下記による。 ・屋内 ※合成樹脂カバー1 ※合成樹脂製カバー2 ○ ・屋外 ※ステンレス鋼板 ○ 7)弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。 ・屋内 ※カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○ ・屋外 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○ 8)車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。 9)合成樹脂製支持受 ※硬質ウレタンフォームに準ずるもの ○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの ○塗装 機械室・電気室内の塗装は ※行う ○行わない ○エポキシ樹脂コーティング及びライニングの乾燥方法は下記による。 ※加熱乾燥 ○常温乾燥 ○ボックス P.F管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。 ●容量等の表示 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。 ●はつり 1)既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2)復旧はモルタル補修までとする。 ○防塵ダンパー及び防火防塵ダンパー 復帰方式は ※遠方復帰式(電気式(定格入力DC24V0.6A以下)) ○手動復帰式 ●消音内貼 ダクト及びチャンバー、消音工ルポの内貼り(箇所図示)は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は ※不要 ○必要 ・チャンバーの寸法は、外形寸法を示す。 (ただし、ダクト及び消音工ルポは、内形寸法を示す。) ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。 ○トレン抜き 外壁に面するガラスに直接取付けるチャンバー類が必要に応じて設置。	給水管・排水管	※ポリスチレンフォーム保温材 ○	排煙ダクト・煙道、排気筒	※ロックウール保温材 ○	その他	※グラスウール保温材 ○																																											
給水管・排水管	※ポリスチレンフォーム保温材 ○																																																	
排煙ダクト・煙道、排気筒	※ロックウール保温材 ○																																																	
その他	※グラスウール保温材 ○																																																	

章	項目	特記事項																				
共通事項	○取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。																				
	●機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等(※溶融亜鉛メッキ ○SUS) ・その他(※一般品 ○) ○機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。																				
	○防火区画	○平面階 ○図示 ○																				
	○掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。																				
	○天井仕上区分	()書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。																				
	○給油設備	地下オイルタンク ○設ける ○設けない 連隔油量指示計 ○設ける ○設けない 副指示計 ○設ける ○設けない オイルサービスタンク 油面計 ※ゲージ式 ○ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 ○給油ポンプの起動、停止制御用 ○返油ポンプの起動、停止制御用 ○満油警報 ○過降警報(○減油 ○満減油)																				
	○建物導入部配管(排気及び通気を除く)	○標準図 施工4(a) (ルボアイホを使用) ○標準図 施工5(b) (ルボアイホを使用) ○標準図 施工5(c) (ルボアイホを使用)																				
	●鋼材	屋外部分 ○●溶垂鉛めっき(※2種35 ○2種50) ○ステンレス鋼製(SUS304)																				
	○制御及び操作盤	構成 ○進相コンデンサー ○運転時間計 表示等 ○運転(赤色)及び停止(緑色)表示 ○保護継電器の動作表示 接点及び端子 ○遠方発用端子 ○運転時間表示用端子 ○温水出入口温度用端子 ○冷水出入口温度用端子 ○消費電力表示用端子(ボイラーの場合、小型費流ボイラーに適用) ○給水量表示用端子(ボイラーの場合、小型費流ボイラーに適用) ○燃料消費量表示用端子(ボイラーの場合、小型費流ボイラーに適用)																				
	●主方式	○全空気方式(○中央 ○各階ユニット) ○ファンコイル・ダクト併用方式 ○個別●式 ○																				
●主要熱源機器	○ボイラー ○温水発生機 ○コージェネレーション装置 ○氷蓄熱ユニット ○冷凍機() ●空冷式冷却塔																					
●設計時の温湿度条件	場所 屋外 屋内(調整目標値) <table border="1"> <tr> <th>時期</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>-2.9℃</td> <td>51.1%</td> <td>22.0℃</td> <td>50.0%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>夏期</td> <td>35.8℃</td> <td>69.9%</td> <td>26.0℃</td> <td>50.0%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table>	時期	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	冬期	-2.9℃	51.1%	22.0℃	50.0%	℃	%	夏期	35.8℃	69.9%	26.0℃	50.0%	℃	%
時期	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																
冬期	-2.9℃	51.1%	22.0℃	50.0%	℃	%																
夏期	35.8℃	69.9%	26.0℃	50.0%	℃	%																
●長方形ダクトの工法	●アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法(○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法)																					
○ダクトの分岐方法	○割込み工法 ○直付け工法																					
●配管材料(図面特記部分は除く)	冷温水管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ 冷却水管 ※炭素鋼管(白) ○ ●塩化ビニル管鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○ 空調用排水管 ※配管用炭素鋼管(白)(○HJ接合 OMDジョイントによる接合) ○水配管用亜鉛めっき鋼管 ○VP 蒸気配管 給気管 ※配管用炭素鋼管(黒) ○ 還管 ※圧力配管用炭素鋼管(黒) ○ 補給水管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ 膨脹管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ エア抜き管 ※配管用炭素鋼管(白) ○ 冷媒管 ○鋼管 ○断熱材被覆鋼管(ガス管:ハイグレード仕様) ○パッケージ型空調機と2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。																					
○温度計	※工業用バイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計 ○ガラス製二重管温度計																					
○定風量ユニット	○メカニカルタイプ ○風速センサータイプ(○ローバ形センサー ○熱線センサー)																					
○ファンコイルユニット	風量分配ダクトは ○亜鉛鉄板製 ○自己消火性のポリスチレンフォームなど 地形状が1/10以内																					
○バーナー制御方式	○オン・オフ制御 ○ハイ・ロー制御 ○比例制御																					
○電動機盤	○進相コンデンサー(○要 ※不要)																					
○排熱投入形再生器	直置き吸収冷温水機(○要する。 ※不要である。)																					
○高温再生器の構造	※図面による。																					
○バルブ/装置	発電方式 ○原動機、発電機 ○燃料電池 熱回収装置 ○温水熱交換機 ○排ガスボイラー ○排ガス熱交換機 ○熱回収ポンプ ○その他 その他装置等 ○補機付属制御装置 ○冷却塔(放熱用) ○																					
○集中リモコン	表示機能 ○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算 データ管理機能 ○屋外機吸込温度 ○空調エネルギー使用量按分 ○運転時間積算																					